フルゲートフォルダー

Q-ML-N00318

2021.4

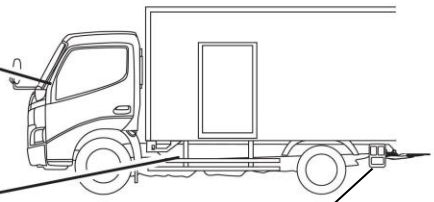
緊急時の対応や、電話による問い合わせの際にご使用ください。

（注）お客様の車両は、設計変更又はオプション仕様の有無により内容が異なる場合があります。

キャブ内メインスイッチ

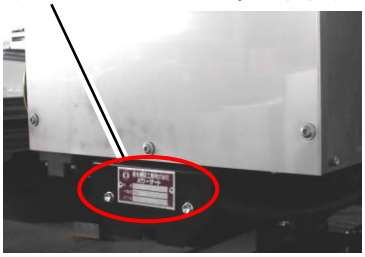
走行時は必ずＯＦＦにする

（配線の途中にヒューズ設置）



製造プレート

（パワーユニット下部に取付）



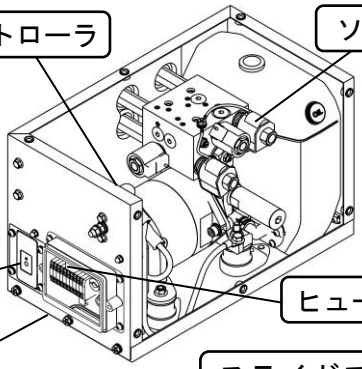
コンタクタボックス

フルゲートフォルダー本体

パワーユニット

コントローラ

ソレノイド



車載バッテリ近くに設置

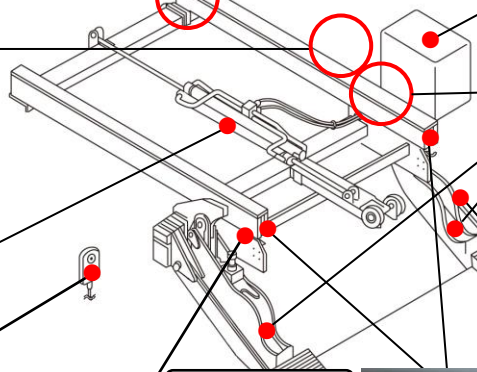
- ヒューズ 140A（TLU-10SD・10MD・10LD・10RD）
  （主電源）100A（TLU-10AD・10BD・10CD・10DD・10ED）
- ヒューズ（制御電源）15A

エラーモード確認ボタン

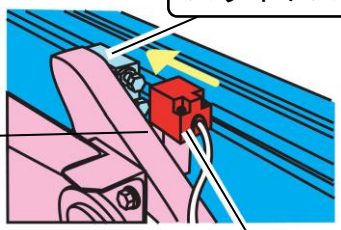
ヒューズ 10A

格納完了センサ用ドグ

格納完了センサ



スライドストッパ



引出センサ

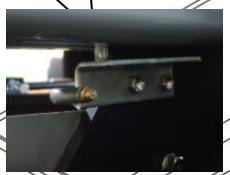
スライドストッパを検知

リフトシリンダ

スライド
シリンダ

コントロール
スイッチ

グリスパイプ



格納センサ

TLU-10SD・MD・LD・RD・DD・ED
プラットホームを折り
畳む際に側板を検知

プラットホーム

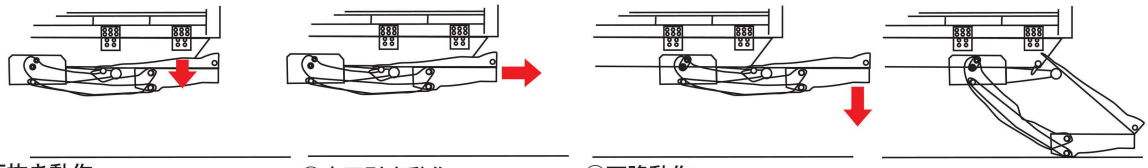
スライドレールグリス給脂
コーションプレート
（左右レール外側に貼り付け）

- 定期的にレールの内側へ給脂してください。
- 給脂は格納状態で行い、グリスガンでの給脂はレールからこぼれ落とさないため３回以内としてください。
- シャシグリス又はリチウム系グリスを使用し、モリブデングリスは使用しないでください。
- グリスが切れるとスライド速度が遅くなったり、横振れが発生することがあります。

TLU-10AD・BD・CD
プラットホームを折り
畳む際に側板を検知

センサの働きの説明

Ⅰ）引出動作（「DOWN」操作）

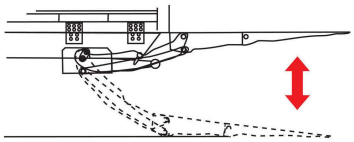


①圧抜き動作
格納完了センサが ON していて
約 0.05 秒間だけ動作

②水平引出動作
引出センサは必ず OFF、
ON すると下降動作になる

③下降動作
引出センサは必ず ON

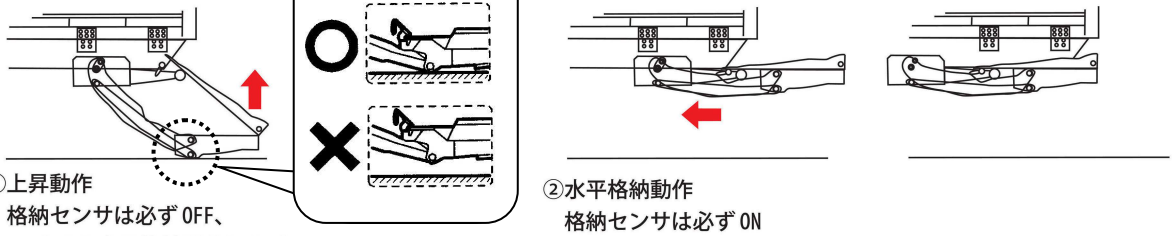
Ⅱ）昇降動作（「UP/DOWN」操作）



①上昇動作
格納センサは必ず OFF
②下降動作
引出センサは必ず ON

Ⅲ）格納動作（「UP」操作）

※注意



①上昇動作
格納センサは必ず OFF、
ON すると水平格納動作になる

②水平格納動作
格納センサは必ず ON

※ アームが接地していない状態から格納操作を行うと、ゲートが格納できない場合があります。
必ずアームを接地させてから格納操作を行ってください。

現場で点検される場合、下記の点に留意してください。

●キャブ内のメインスイッチは、ONですか？
・キースイッチ付きの場合、キースイッチもONですか？
●バッテリは弱っていませんか？
・パワーユニットが動き出す時、非常に大きな電流が必要です。この時、バッテリが弱っていると電圧降下を起こし、パワーユニットが動けないことがあります。
・エンジンをかけて、あるいは吹かしながら作動させて見てください。
●各センサに外見上の問題はありませんか？
・センサが損傷していませんか？
・取付の状態は良さそうですか？（曲がっている、方向がおかしい･･･）
●ヒューズが切れていませんか？
・ヒューズが切れている場合は、修理手配をしてください。
不用意な応急処置は、パワーユニットを焼損させるなど非常に危険です。
●配線に問題はありませんか？
・コードの噛み込みや無理な引っ張りによる断線や短絡の形跡はありませんか？
・水の進入による電気的なトラブル（コネクタ部など）の可能性はありませんか？
●油もれを起こしていませんか？（パワーユニット内やシリンダ）
・多量の油もれがあると、油量不足でゲートが十分に上昇できない場合があります。
・油もれがあった場合、直ちに修理手配をしてください。

エラーモード LED 表示

点滅回数	エラーモード
点灯（5秒間）	異常なし
1	モーター過熱検知
2	ダイオード過熱検知
3	電源電圧低下（約7V～12V）
4	・コンタクタの接点不良
	・コンタクタが作動しない
	・バッテリーケーブルの損傷
	・100A/140A ヒューズ切れ
	・バッテリー端子の緩み
5	コンタクタのショート
6	・ソレノイド出力ラインのショート
	・10、15A ヒューズ切れ
7	モーター駆動FETオープン破壊
8	モーター駆動FETショート破壊
9	リモコンコードショート
10	CAN通信エラー

本製品は、スマートフォンを用いて、製品の状態を確認していただくことが可能です。
本機能の詳細は、下記 URL もしくは右記 QR コードからご確認ください。

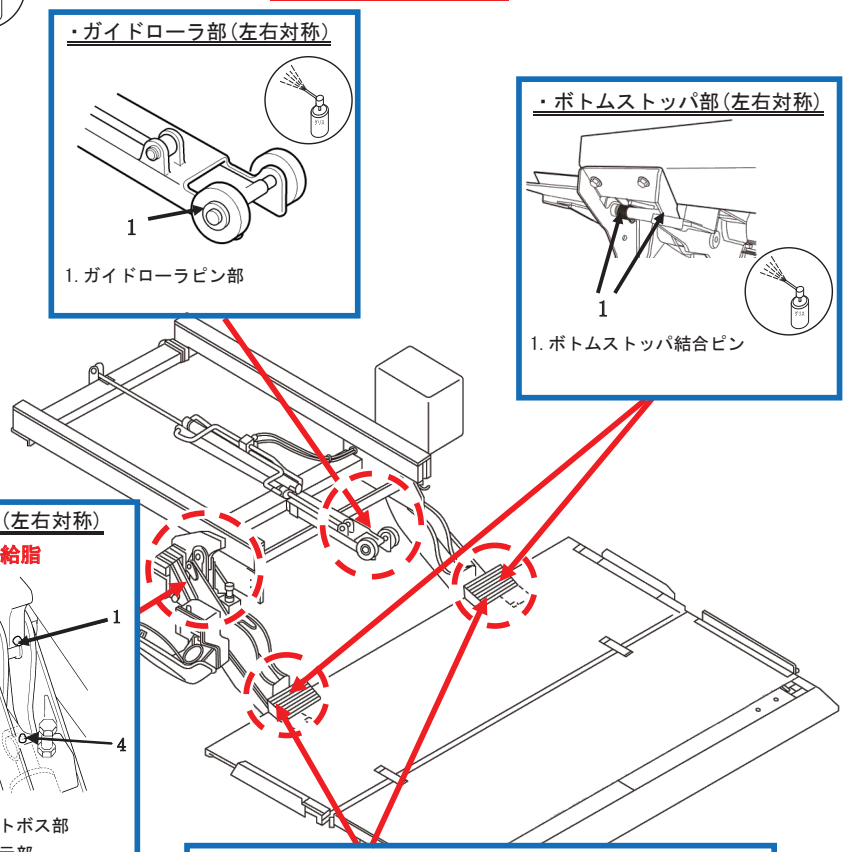
URL：https://vm.kyokutokaihatsu.co.jp/k-dass/help

QR コード：

グリスアップ時のお願い

フルゲートフォルダーの故障を未然に防ぎ、寿命を長くするためには、定期的な給脂が必要です。
グリスアップは**3ヵ月ごと**に行なってください。
（注）お客様の車両は、設計変更又はオプション仕様の有無により内容が異なる場合があります。

←このマークがある箇所は**リチウム系スプレーグリス**を塗布してください。



・ガイドローラ部（左右対称）

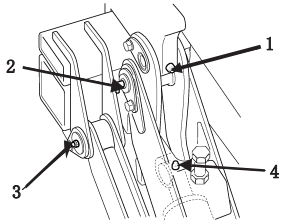
1. ガイドローラピン部

・ボトムストッパ部（左右対称）

1. ボトムストッパ結合ピン

・アーム根元部（左右対称）

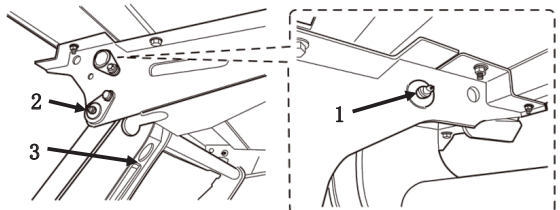
シャシグリス給脂



1. チルトブラケットボス部
2. リフトアーム根元部
3. コンプレッションアームボス部
4. リフトシリンダーヘッド部

・アーム根元部（左右対称）

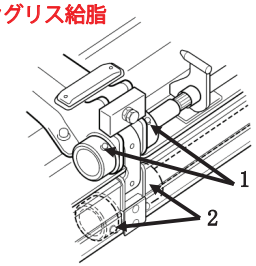
シャシグリス給脂



1. リフトアーム結合ピン部
2. コンプレッションアーム結合ピン部
3. リフトシリンダーロッドヘッド部

・ジョイントリンク・ピン部（左側）

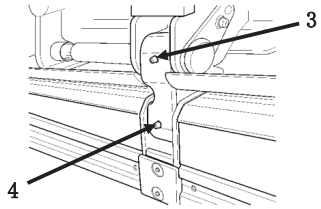
シャシグリス給脂



1. トップ（ミドル）スチフナ・ボス部
2. ボトムスチフナ・ボス部

・ジョイントリンク部（右側）

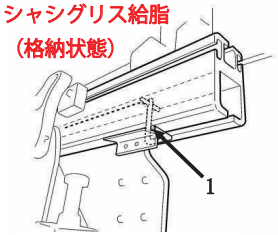
シャシグリス給脂



3. ジョイントリンク部（トップ / ミドルプレート側）
4. ジョイントリンク部（ボトムプレート側）

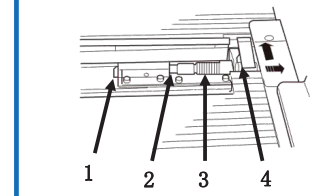
・スライドレール部（左右対称）

シャシグリス給脂
（格納状態）



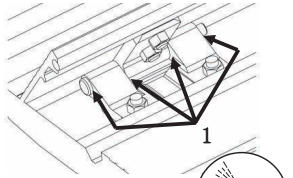
1. スライドレール内部

・キャスターストッパ部（左右対称）



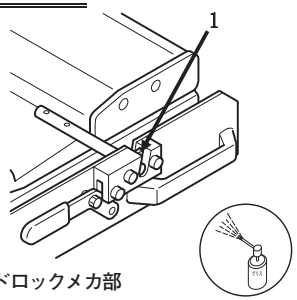
1. ラッチツメ部
2. ラッチシャフト部
3. シャフト部
4. レバー根元

・キャスターストッパ部（左右対称）



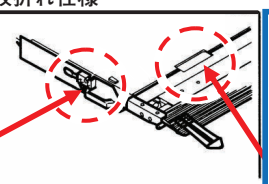
1. ヒンジ部

・サイドロック部



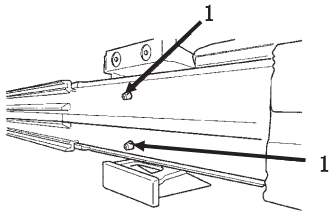
1. サイドロックメカ部

3枚折れ仕様



・ジョイント部

シャシグリス給脂



1. ジョイントリンク結合部